

「心に残る文化財子ども塾」学習指導案

日 時:令和6年7月1日(月)9:35~10:35

場 所:安来市立井尻小学校

対 象:5・6年生(5名)

指導者:担任教諭2名

埋蔵文化調査センター1名

1. 主題

大仏が作られた時代を学ぶ ~安来市の古代遺跡と和同開珎作り~

2. ねらい

○地域の遺跡や出土遺物を通じ、文化財に対する興味関心を高める。

○和同開珎作りを体験することで、古代の人々の知恵や技術について知る。

3. 展開

時間	学習活動	指導者の支援・配慮事項
9:05~9:30	準備(座学・体験は同じ教室で実施)	○理科室
9:35~9:40 (5分)	1. 学習の見通しをもつ。 ・ねらいと学習内容 ・講師紹介	○担任が進行する。 ・電子黒板で内容を確認
9:40~9:55 (15分)	2. 奈良時代と安来市の古代遺跡について学ぶ。 ・大仏が作られた時代背景や当時の社会を確認。 ・安来市の古代遺跡について学習する	○担任が進行する。 ・事前にプリント配布し記入 ・電子黒板で答え合わせ。 ○講師が進行する。 ・PP等を用いて説明。
9:55~10:30 (35分)	3. 和同開珎作り体験 ・道具、作業手順の説明 ・作業開始~(流し込みまでリーダーが行う) ----- ・本物の和同開珎や土器を観察して触れる。 ----- ・作業再開(切離しは講師、磨きは各児童が行う) ・片付け	○講師が進行する。 ・リーダーを一人決めておく。 ・注意事項の説明 ----- ・冷却時間を利用する。 ----- ・時間外作業ができるよう研磨剤を小分けする。
10:30~10:35 (5分)	4. まとめ ・感想発表	○担任がまとめをする。

4. 準備物

学校:電子黒板、軍手、筆記用具

埋文:低融点金属、タルク、鋳型、鍋、ガスコンロ、事前・当日配布プリント資料、出土遺物(和同開珎・奈良時代土器)、PC、アンケート用紙(後日回収)